

令和6年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信中学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	58.1%					○
数学	52.5%			○		

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	59.2%				○	
情報の扱い方に関する事項	59.6%	○				
我が国の言語文化に関する事項	75.6%					○
話すこと・聞くこと	58.8%					○
書くこと	65.3%					○
読むこと	47.9%					○

【考察】

- 「読むこと」の領域では、文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる問題が全国平均を大きく上回りました。今後も、書くことの学習と関連させ、書く目的や伝える相手に応じて効果的に図表等を用いて書く指導をしていきます。
- 「情報の扱い方に関する事項」の領域では、意見と根拠や具体と抽象など、情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題が全国平均を下回りました。様々な情報の中から、「原因と結果」「考えと理由」などの言葉に注目させ考えることで、結びつけて理解できるよう支援していきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.1%					○
図形	40.3%	○				
関数	60.7%					○
データの活用	55.5%	○				

【考察】

- 「関数」の領域では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題が全国平均を上回りました。日常生活や社会の事象を「式」「表」「グラフ」を用いながら積極的に表現する場面を設定することで、相互の関連に関する理解をさらに高めていきます。
- 「データの活用」の領域では、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題が全国平均を下回りました。「ヒストグラム」「箱ひげ図」から目的に応じたデータの収集や分析を行う場面を設定することで、解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力が身につくよう継続して指導していきます。

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	28.2	50.4	18.1	3.0
	大信中	13.3	70.0	13.3	3.3

(単位 %)

### 【考 察】

- 辞書およびタブレット端末等の活用をさらに推進していきます。また、学年の垣根を超えて学び方の情報を発信し合い、それぞれの生徒が自分にふさわしい学習方法を主体的に選択していけるよう促していきます。
- 教師の働きかけや問い返しにより、生徒が考えを共有・吟味し、自身の思考力・表現力の高まりを実感することができる授業を目指します。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6
	大信中	0.0	23.3	43.3	26.7	0.0	6.7

(単位 %)

### 【考 察】

- 本校では、1年生で80分、2年生で100分、3年生で120分の家庭学習を目標としています。タブレット端末を活用した学習方法の紹介や各種検定試験の奨励など、目的意識をもって家庭学習に取り組めるよう支援していきます。
- 自己マネジメント手帳および課題解決型のテスト計画表をさらに積極的に活用することで学びを見える化し、生徒が自らの学びを自己調整しながら、学習を進めていくことができるよう支援していきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	27.1	50.8	18.0	3.2
3	大信中	33.3	40.0	23.3	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 授業の終わりに「何を学習したか」をまとめ、「どのように学習してきたか」を振り返る時間を確保しています。また、分かったことを繰り返し練習して、できるようになったり、よく分からなかったことは質問し、工夫してもう一度やってみたりする授業や家庭学習につながるよう指導していきます。
- 振り返りの中で分からないことに気付いたり、疑問を抱いたりすることを大切に、気付きや疑問を全体で共有したり、タブレット端末や自己評価表等を活用して個別の支援を行ったりし、学び続ける生徒の育成に努めていきます。

4 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

		当てはまる	どちらかとい えば当てはま る	どちらかとい えば当て はまらない	当てはまら ない	話し合う活 動を行って いない
中	全 国	36.4	49.7	9.8	2.4	1.1
3	大信中	60.0	36.7	0.0	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- グループ学習やペア学習など学習形態を工夫することで、自分の考えをもち、それを伝えることへの抵抗が少なくなってきました。また、生徒が学習を振り返り、学んだこと、分かったこと、疑問に思ったことを自分の言葉でまとめる習慣が身についてきています。
- 昨年度の校内調査でも、話し合い活動による意見交流を通して「新しい発見ができた」「疑問に思ったことについて、解決するようになった」「テスト前に、自分の言葉でまとめたノートを活用するようになった」など、生徒の記述から成果を感じ取ることができました。また、将来の夢や目標をもつ生徒の割合も増えています。